

## 町長との行政懇談会 質疑応答

日 時：平成 23 年 11 月 29 日（火） 午後 7 時～午後 8 時 55 分

場 所：文化交流プラザ

対 象：鹿伏・平木・井上地区

参加人員：33 人

Q. 下水処理場予定地の空き地に箱物を建てるのか。

A. 処理方式を変えたことで、処理施設が小さくなる。空いた土地は、要望等を聞いたうえで避難の拠点や住民の憩いの場としたい。箱物は考えていない。

Q. 12 月広報紙の町の財政状況で、総務費の補正が約 2 倍になっているが、なぜか。

A. 防災・防犯対策、ホームステイ事業と考えられる。また、22 年度の繰越金が含まれているため。

Q. 基金の財務情報も載せるべきでは。

A. 次から載せる。

Q. 介護保険料が高松と比べても高いと思うが、なぜか。また、来年度の福祉介護の取り組みは。

A. 高いのは、介護の施設やサービス水準が高いからと考えていただきたい。みき山荘の増床等、今後さらに充実していく。

Q. 下水処理場で処理施設のない南のエリアの地盤高はどうなるか。

A. 地盤を 50cm 下げ、20cm の花崗土を入れた今の状態（-30cm）となる。処理施設の場所は+50cm。

Q. 大宮橋東の一車線を広くしてほしい。

A. 地権者に粘り強く同意を求めたい。

Q. 自転車のルールが変わったことによる安全性の確保をしてほしい。

A. 費用もかかることから現時点で整備の方向性は定まっていない。

Q. 町長には積極的な取り組みをしていただき、辞めるときには惜しまれる様な活躍を期待する。

Q. ホームステイ事業の残金はどうするのか。

A. 事業の使命は終わったと考える。小額だがどうするか考える。

Q. ベルシティ周辺道路の草刈等、舗道整備をお願いしたい。

A. 町道の草刈は年 1 回だが 2 回は要すると思うが、予算の枠もあり難しい。主要道はなるべく多くしたい。県道は県に要望していく。

Q. 国保税の納税証明書を郵送してほしい。

A. 送るには費用がかかるし、申請が必要となってくる。領収印のある納付書で高松税務署でも申告できる。

Q. 新川の住吉堰（固定堰）の改修はいつで、町はどう関わるのか。

A. 難航したが、30年計画で実施できるようになった。住吉堰は可動堰にできるようになったが、河床が下がる関係で今は護岸工事を実施している。できるだけ早くやりたい。

Q. 平成24年度予算編成の重点は何か。

A. 編成はこれからだが、人づくりが重要。中心となるのは教育（学校教育）費と考える。

Q. 道徳の時間を増やせないか。

A. 教科書の統一等の問題で難しい。町長として教育委員会に指示はできない。

Q. 職員の駐車料金を徴収することは検討されたか。

A. 徴収するほど役場来訪者に不便はかけていないと考える。

Q. 公用地に私物を置いてはいけないのでは。

A. 仕事の内容、交通事情等を考えても問題ないと考える。

Q. 選挙管理委員会、農業委員会等の給料はどうなっているのか。

A. 選挙の有無関係なく毎年同額である。これは見直す風潮になり得る。

Q. 固定資産の課税を目視ではなく航空写真を使って公平にしてほしい。今後の予定は。

A. 課税漏れもあると思う。調べさせていただく。

〔 後日、未評価家屋について平成22年9月に撮影した航空写真を基に評価を行っていく旨、回答。 〕

Q. 行政懇談会は毎年するのか。回答もこの場でできるようにしてほしい。

A. 毎年やりたい。問い合わせを事前にいただければ回答を準備できるので、その方向でやりたい。